

事業者における自己評価

事業名		ハッピーテラス戸塚教室		公表日	2026年3月21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指定基準に沿ったスペースを確保しています。	引き続き、利用人数に応じたスペースの確保に努めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員または保育士を1名以上配置しています。	引き続き、配置基準を遵守し、安全に受け入れを行います。
	3	職員の身だしなみ、言葉遣い、対応は適切か	○		職員間で気になる言動や身だしなみが見られた際には、声を掛け合い、日頃から意識するようにしています。	
	4	教室内(机、家具等)の安全対策はできているか	○		椅子のネジが緩んでいないか毎日確認するようにしています。	コーナーガードを子ども達が触ってしまい外れている事がある為、今後も子ども達が安全に教室で過ごせるように、日々の確認を徹底していきます。
	5	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか	○		教室で使ってはいけない言葉を子ども達が分かりやすいように壁に貼り付け、視覚化しています。	引き続き、子ども達が行動しやすい環境作りを意識していきます。
	6	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃と消毒を行い、教室内を清潔に保つようにしています。	子ども達がボール遊びをする時に、机と椅子を端に寄せて対応していますが、教室の広さに限界がある為、今後も遊び方のルールを明確にして、楽しく安全に過ごせるように配慮していきます。
	7	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別室やパーテーションを使用し、必要に応じて個別で過ごせる環境を整えています。	個別室が遊び場として定着しないように、子ども達にはルールをきちんと伝えていくようにしていきます。
業務改善	8	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		朝のミーティングでその日の利用児童の課題を共有するだけでなく、トレーニング後の時間に振り返りの時間をとり、職員間で情報共有が出来るようにしています。	
	9	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回、保護者様にアンケートの回答にご協力頂き、頂いたご意見をもとに業務の見直しを行っています。	頂いたご意見について、職員全員が把握出来るようにしていきます。
	10	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日頃から職員間で会話する機会を設け、業務の意見等を言いやすい環境作りに努めています。また、朝のミーティングと終わりのミーティングの時間に話し合う時間を設けるようにしています。	非常勤職員や新しく入社した職員からも、意見を吸い上げられるよう努めていきます。
	11	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		年に1回、必ずホームページで公開しています。	
	12	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は、第三者による外部評価を受ける機会を設けられていませんが、本部によるチェック体制を活用しています。	
	13	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		入職時には必ず研修を受けるだけでなく、定期的に教室内で支援の困り事を共有し、勉強会を設けるようにしています。	社外の研修にも今後は積極的に参加出来るようにしていきます。
	14	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで支援プログラムを公表しています。	
	15	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントシートを活用し、個別支援計画の更新時に再アセスメントと個別支援計画会議で課題の確認を職員で行い、保護者面談でニーズの確認をした上で個別支援計画を作成しています。	引き続き、適切な目標設定が出来るように保護者との連携を徹底して参ります。
	16	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、指導員も参加して会議を行う事を徹底しています。	今後も子どもに最適な支援を提供出来るように努めていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	17	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援日誌にて支援計画の評価を毎回行っている為、職員が確認出来るようにしています。	職員への共有に漏れないように、今後も徹底して参ります。
	18	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		体験、契約時にアセスメントシートを使用して保護者にヒアリングするだけでなく、日々の記録を記載し確認する事が出来ています。	今後も継続していきます。
	19	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントシート、日々の記録、保護者からのヒアリングを元に、支援に必要な各項目が適切に設定出来るようにしています。	今後も内容に漏れないように、アセスメントや保護者からの聞き取りを適切に行い、より具体的な支援内容を設定してまいります。
	20	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		トレーニングを行うメインの指導員全員でプログラム内容を立案し、より良いトレーニングに出来るように意見交換を行っています。	引き続き、子どもの発達段階や学年に合わせたトレーニングを提供出来るように努めてまいります。
	21	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		週間テーマに沿ってプログラムの立案を行い、固定化しないように工夫しています。	引き続き、プログラム内容を工夫し、子ども達が楽しみながらトレーニングに参加出来るように工夫してまいります。
	22	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別指導の枠はありませんが、集団トレーニングに参加する事が難しい子には、個室やパーテーションを使用し、個別課題を提供するようにしています。	集団活動が苦手な子どもが集団の中に入れるような活動を考案してまいります。
	23	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で席や職員の配置、その日に利用される子ども達、1人ずつの目標等について、意見交換しています。	引き続き、共有を行う時間を確保していくように努めてまいります。
	24	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼時にその日に利用した子どもの様子で気になった事や支援内容について、必ず共有する時間をとっています。	引き続き、共有を行う時間を確保していくように努めてまいります。
	25	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		社内のツールを活用し、支援日誌に記録を残しています。短期目標以外の様子も記録するようにしています。	朝礼の時間にその日利用する子の前回利用時の記録を確認し、より良い支援を提供していくように努めてまいります。
	26	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心となってケース検討会議を実施し、指導員と意見交換を行っています。必要に応じて計画の見直しをしています。	朝礼や終礼の時間にも、子どもの様子で気になる事や目標についての共有を今後も継続出来るように徹底してまいります。
関係機関や保護者	27	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの活動に配慮したプログラムとなるように職員で話し合いをしています。	地域交流については、足りていない部分がある為、今後も4つの基本活動を意識したプログラムを提供出来るように考えて参ります。
	28	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども自身に自分の課題や目標について問いかけ、個別支援計画に反映する必要がある場合は、取り入れた上で支援するようにしています。	保護者だけでなく、子どもとの面談の時間を出来る限り多くとれるように努めてまいります。
	29	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に参加するように徹底しています。	担当者会議の前に事業所の職員で状況を整理、事業所としての見解もまとめておくように努めてまいります。
	30	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所と連携をとったり、必要に応じて他事業所と連絡をとったり、体制を整えるようにしています。	引き続き、ご希望に応じて実施を予定しております。
	31	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		保護者に同意を得たうえで、必要に応じて電話で情報共有するようにしています。	引き続き、ご希望に応じて実施を予定しております。
	32	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、関係機関との情報共有を行っています。	環境に変化があっても、継続出来る支援の把握に努めてまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
との連携関係機関や保護者との連携	33	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○		必要に応じて、関係機関との情報共有、引継ぎを行なっています。	継続出来る支援の共有に努めています。
	34	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		半年に1度、本部によるスーパーバイズ機能を活用し、必要に応じてアドバイス等を受けています。	今後も外部の研修を受ける機会を増やし、より良い支援に繋げて行けるように努めています。
	35	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	他事業所との交流の機会は設けられていませんが、卒業した子と関わる機会がごく稀にあります。	現状は出来ていませんが、既存の利用者様の意向を確認しながら必要に応じて検討していきます。
	36	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		区の連絡会等に積極的に参加し、事務局業務に参画しています。	引き続き、積極的に参加していくように努めています。
	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者面談だけでなく、お迎え時や電話等で日頃から共通理解をもつように意識しています。	引き続き、保護者との連携を積極的に行っています。
	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談や送迎時に日々の困り事等をヒアリングし必要に応じて助言したり、講演会等の情報があればチラシをお渡ししたりしています。	ペアレントトレーニングは実施していませんが、引き続き、保護者との連携に努めると共に、お伝え出来る情報があれば積極的に共有していくようにします。
保護者への説明等	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に文書を提示した上で口頭の説明を行っています。また、問い合わせや体験時に支援プログラム等の説明も行っています。	運営規程や支援プログラム、利用者負担等の内容に変更がある場合には、都度説明を行います。
	40	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者面談を通じて意向を確認し、必要に応じて子ども自身にも確認するようにしています。	今後も保護者や子どもから意向を確認する機会を設け、より良い支援に繋げていきます。
	41	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者面談で日々の支援内容について説明し、同意を得ています。	個別支援計画の内容に変更がある場合には、丁寧に分かりやすい説明をしていくように、今後も努めています。
	42	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者面談だけではなく、お迎え時や電話、メールでも必要に応じてお話しする機会を設けています。	今後も保護者が相談しやすい雰囲気作りを徹底していきます。
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現状は父母の会の実施が出来ていませんが、仲が良い子ども同士の保護者が交流出来るように、お迎え時にタイミングが合えば、ご案内するようにしています。	現状は出来ていませんが、既存の利用者様の意向を確認しながら必要に応じて検討していきます。
	44	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談事項があった際には、職員間で共有を図り、迅速に対応するようにしています。	今後ご意見があった際には、迅速に対応が出来るように職員間での連携を徹底していきます。
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSは行っていませんが、毎月ハッピーテラス通信を発行し、トレーニング内容等をお知らせしています。	トレーニングの具体的な情報やイベントの様子について、もっと保護者にお伝えが出来るようにブログ等の掲載も検討していきます。
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きの書庫に保管し、管理を徹底しています。	引き続き、個人情報の取扱いには細心の注意を払っていきます。
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		自分の気持ちを伝える事が難しい子には、選択肢を提示して自分で選んで伝えてもらったり、指差しで意思疎通が出来るようにしたりと、個々の特性や配慮事項に合わせて対応しています。	
48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民の方を招待する機会は設けていませんが、他事業所からの見学等は随時受け入れています。	地域の皆さんとの交流が出来るようなイベントを計画したり、地域のイベントに参加したりする事が出来るように検討していきます。	
	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		社内研修にて職員への周知を徹底しています。	定期的に職員間で読み合わせの機会を設けて理解を深めると共に、保護者への周知も徹底するように努めています。
	50	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回の避難訓練を実施し、その都度、備蓄や避難経路の確認をしています。	業務継続計画(BCP)の継続的な見直しを行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に保護者に確認し、対応時の為にマニュアルを完備しています。	保護者面談で確認し、不備がないように徹底して参ります。
	52	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある場合には緊急連絡票に記載してもらっています。	緊急連絡票が未提出の方には、提出して頂くように引き続きお声掛けしていきます。また、事業所内での勉強会を実施していきます。
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成を実施しています。	
	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全確保に基づく取組内容の家族等への周知が十分でないため、周知の方法を検討していきます。
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の終礼でヒヤリハットがなかったか確認し、対応策について話すようにしています。	引き続き、ヒヤリハットが生じた際に共有と振り返りを徹底していくようにします。
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内で研修を行い、職員全員が同じ意識を持って対応出来るようにしています。	引き続き、研修機会等を確保し、虐待防止に努めていきます。
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要となるケースがあった場合には、保護者への説明と個別支援計画への反映を行い、虐待防止委員会で検討する機会を設けています。	引き続き、身体拘束解除に向けた支援目標を計画し、取り組んでいきます。